

第 46 回 国民スポーツ大会東海ブロック大会

スポーツクライミング競技 実施要領

1 総 則

第1条 （運用及び定義） 国民スポーツ大会東海ブロック大会スポーツクライミング競技（以下「競技」と略称）の開催、及び運営に 関する事項は、（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「JMSCA」と略称）制定の、現行の規則集に 準じて実施する。ただし、規則集によらない事項及び本大会において実施する事項については、本要領に よる。

第2条 （競技の種別） 競技種別は、成年女子、少年男子及び少年女子とする。

2 共通規則

第3条 （競技場）

1. 競技施設は、東海地区山岳連盟が認めたものとする。
2. 競技場は、リード競技場及びボルダー競技場とも屋内とし、スポーツクライミング競技施設認定規定に準 じる。

第4条 （公 示） 競技会の実施要領並びに競技日程は、大会開催の 1 か月前までに公示する。

第5条 （送 付） 競技会の実施要項・実施要領並びに競技日程は、大会開催の 10 日前までに東海地区山岳連盟（以下 「県岳連」と略称）に送付する。

第6条 （組 織） 競技会の準備、運営及び審判は次の役員が分担する。

- （1） 競技会役員 （2） 競技役員

第7条 （競技会役員の任務） 大会会長は大会を主管する山岳連盟の代表者がこれに当たり、大会を統括する。中央総務委員会は大会委員長及び中央総務委員で組織し、競技会の運営及び審判について、競技規則その他の規則に基づき審査確認し、必要な事項について助言と改善を指示する。その任務は次のと おりとする。

- （1） 競技会場及びその附帯施設についての確認
- （2） 競技運営についての点検
- （3） 総合成績の確認
- （4） 天候やその他不足の事態による競技の変更及び中止についての決定
- （5） 選手、監督の参加資格の確認及び失格処分の決定
- （6） その他、必要な事項の処理

第8条 （競技役員の構成と任務）

1. 競技役員の構成

- （1） 競技委員長・競技副委員長 （2） 審判長・主任審判員・審判員 （3） テクニカルデレグイト （4） チーフルートセッター・ルートセッター （5） ビレイヤー・競技補助員 （6） 総務委員長・総務委員・医務員

2. 競技役員の任務

- （1） 競技委員長は、競技会の運営を統括し、その結果を大会委員長に報告する。
- （2） 競技副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故あるときはその職務を代行する。

(3) その他の競技役員は、競技委員長・審判長の指示に従い種目ごとに定める任務について競技の運営にあたる。

第9条 (審判員) 東海地区県岳連は3名の審判員を推薦し、審判長は2項の定めに従う。

1. 審判員の構成

(1) 審判長 1名 (2) 主任審判員 1名 (3) 審判員 9名

2. 審判長は東海ブロック大会調整会議で決定する。主任審判員は審判長が推薦する。

第10条 (選手のスタート順) チームのスタート順は、次の通りとする。なお、リード競技の出場順はゼッケンの枝番順とする。

種目別組み合わせ(スタート順)

種別 種目	スタート順	少年男子	成年女子	少年女子
リード競技	1	愛知	愛知	静岡
	2	静岡	岐阜	愛知
	3	三重	三重	三重
	4	岐阜	静岡	岐阜
ボルダー競技	1	愛知	三重	三重
	2	岐阜	静岡	岐阜
	3	静岡	岐阜	愛知
	4	三重	愛知	静岡

第11条 (成績の発表)

1. 成績の発表は、1日の各種別競技が終了した後、次の手順で行う。

(1) 当該種目競技が終了した後、種目ごとに種目の順位を決定する。

(2) 競技役員は、公式掲示板に成績表を掲示し、成績を発表する。

2. 総合成績の発表は、全競技が終了した後、次の手順で行う。

(1) 競技委員長は、大会委員長に総合成績順位を報告する。

(2) 大会委員長は、表彰状の作成及び成績発表について総務委員に指示する。

(3) 東海ブロック大会通過チーム枠(滋賀国スポ出場県)は以下のとおりとす

る。 < 成年女子：1 少年男子：2 少年女子：2 >

第12条（ルート・セット） ルート・セットは JMSCA 公認ルートセッターが行う。

3 リード競技規則

第13条（定義）

1 競技は、チーム単位で実施する。選手は2名とし、両名が同一のルートを枝番順にて登る。

2 審査は、別に定める項目について行い、その判定は JMSCA 公認審判員が行う。

第14条（競技の構成）

1 競技のチーム数は、4チーム以内とする。

2 競技役員の構成は、次のとおりとする。 審判長 1名 主任審判員 1名 審判員 8名

チーフ・ルートセッター 1名 ルートセッター 2名 ビレイヤー 若干名 競技補助員 若干名 総務委員 若干名 医務員 1名

3 競技の日程は、1日間とする。

4 一人あたりの競技時間は、6分間とする。

5 競技は、1面のクライミングウォールを使用し、チーム単位で一人ずつ実施する。

第15条（競技の方法）

1 オブザベーション時間は6分間とする。

2 競技中は、チームごとに選手1名ずつスタートする。

3 監督は選手に指示することができる。

4 競技を終了した選手は同チームの次の選手に指示することができる。

4 ボルダール競技規則

第16条（競技の構成）

1 競技のチーム数は、4チーム以内とする。

2 競技役員の構成は、次のとおりとする。 審判長 1名 主任審判員 1名 審判員 8名

チーフ・ルートセッター 1名 ルートセッター 2名 ビレイヤー 若干名 競技補助員 若干名 総務委員 若干名 医務員 1名

3 競技の日程は1日間とする。

4 各ボルダーの競技時間は、1チームの選手2名、1基のクライミングウォールの2課題につき5分間とする。

第17条（競技前オブザベーション） 競技前オブザベーション時間は1基のクライミングウォールの2課題につき4分間とする。

5 東海ブロック大会における本大会出場チーム決定方法 「国スポブロック大会における本大会出場チーム決定方法に関する規定」の別紙「本大会出場チーム選出方法について（解説）」において示されている本大会出場チームの決定方法に関して、3. 2.（4）まで適用してもなお出場チームが決定できない場合、抽選にて同着を解消するものとし、本大会出場チームを決定する。

付則1 本実施要領は、東海ブロック大会調整会議にて制定する。

2 本実施要領の改廃は、東海ブロック大会調整会議において行う。

3 本競技規則要領は、東海ブロック大会のみに適用し、2025年度の大会にて施行する。

実施要領補足

1 参加申込

- (1) 参加申込みについて 参加申込みは日本スポーツ協会の国民スポーツ大会参加申込システムによる申込とする。
- (2) 参加申し込み後の選手・監督の変更 選手・監督の変更が必要な場合は、各県で所定の手続きをしたうえで、「参加選手・監督（交代・変更・棄権）届」を選手・監督1名につき1枚提出すること。提出は監督会議までに受け付けるものとし、以後は認めない。
- (3) 棄権が生じた際の手続 所属する各県の連絡責任者へ連絡し、大会終了後、所定の手続きを取る。なお、監督会議後に棄権が生じた場合、監督は棄権理由を明記した所定の「参加選手・監督（交代・変更・棄権）届」により、競技会責任者へ提出すること。

2 大会前の競技会場への立入について 競技会場への立入りができる最終日時は次のとおりとする。2025年7月16日（水）まで ※練習可能日時については施設の規定による。

《参考》 競技会場

（リード競技）ブルーキャニオン 静岡県富士市青葉町124

（ボルダー競技）サニーロック富士 静岡県富士市天間902-4

- 3 食事について 競技会場内では弁当などの食事はできない。飲料の持ち込みは可、ゴミは各自で持ち帰ること。

- 4 宿 泊 前日泊については主催者 側では指定しないが、選手受付に間に合うよう必要なチームは対応すること。
- 5 輸 送 各競技会場から宿舎等への移動は、計画輸送を行わない。駐車場を利用する場合は、近隣の有料または無料駐車場を各自負担で利用すること。
- 6 ゼッケン 選手のゼッケンは主催者が受付時に支給する。シールが付着できない場合は安全ピンを支給する。
- 7 電子機器 アイソレーション・ゾーンには、スマートフォン、携帯電話、ノートパソコン、タブレット以外にも、外部からの情報の受信もしくは外部への情報の送信が可能な Wi-Fi および Bluetooth 機能が搭載された電子機器（スマート ウォッチ、ヘッドホン、イヤホン、スマートグラス等）を持ち込むことはできない。必ず主催者に預けること。（役員を除く）
- 8 トレーナー 選手・監督と同時にアイソクローズの時間までにエリアに入る場合に限り、トレーナーはアイソレーションエリア に立ち入ることができる（1 名／チーム）。ただし一度退出した場合は競技エリアに戻れないものとする。 連絡・注意事項
- 9 ユニフォーム・服装（1）選手は、アテンプト時においては、常に種別ごとの統一ユニフォームを着用すること。競技の服装については、JMSCA の規程による。（2）式典の服装については、競技者にふさわしいものとする。
- 10 賞状 種別ごとに、リード・ボルダー・総合の上位成績の 3 位までに授与する。リード・ボルダーは各チームに 1 枚、総合については各チーム 3 枚とする。
- 11 大会延期、中止の場合における代表選考について 大会委員長並びに中央総務委員で協議の上、代表選考の選出方法を決定する。
- 12 AD （アンチ・ドーピング） 研修はおこなわない。